

安 全 情 報

No 21 / 2017

夜間における抗議集会に関する注意喚起

野党連合 MUD は、制憲議会への反対、マドゥーロ大統領の退陣、憲法秩序の回復及び民主主義の尊重、諸選挙の実施等を求め、5月17日（水）の夜、カラカスにおいて抗議集会を呼びかけています。

夜間の集会は、これまであまり例がなく、一部の野党支持者が過激な行動に出ることも予想されますので、下記の情報をご参照頂き、集合場所付近には近づかないようお願いいたします。

記

1 抗議集会の予定

5月17日（水）午後5時から、カラカス首都圏チャカオ市ロス・パロス・グランデス地区パルケ・クリスタル及びリベルタドール市モンタルバン地区ラ・ビジャ・ショッピングモールにおいて、抗議集会を予定しています。

*野党連合 MUD は、5月18日（木）も、リベルタドール市の内務司法省に向かうデモ・抗議集会を計画しています。

2 注意事項

- (1) 17日（水）、夕方より、フランシスコ・ファハルド高速道路の西側周辺及びフランシスコ・デ・ミランダ通りが閉鎖されると思われます。
- (2) 集会が長時間に及んだ場合、これを排除しようとする治安機関との衝突の可能性があるほか、リベルタドール市1月23日地区、エル・パライソ地区、エル・バジェ地区、スクレ市ペタレ地区等で、夜間、小規模の暴動や略奪、道路でゴミを燃やす等の騒擾事案が発生するおそれがあります。
- (3) 治安機関は、デモ・抗議集会を制圧する際、たびたび催涙ガスを使用しており、催涙弾が人体に直撃して死亡する事件も発生しているほか、催涙弾の中には、劇症アナフィラキシーショック死や視覚障害、脳障害を引き起こす可能性のあるガスも含まれています。そのため、催涙弾が使用される場面に遭遇してしまった場合は、風上や建物内に避難するようにして下さい。
- (4) 現下の厳しい経済状況や治安の悪化もあり、当面、夜間早朝の外出及び不要不急の外出は極力控え、できる限り、食料品・飲料水等の備蓄に努め、やむなく外出せざるを得ない場合には、テレビ・ラジオ・インターネット等で、事前に外出先や経路の状況を確認するようにお願いいたします。